

小国町立病院経営強化プランの検証（令和6年度）

1 収益的収支の状況

(1) 総括

入院は、年延べ人数8,181人で前年度に比べ367人の減少となり、平均入院患者数は22.4人で令和5年度より1人減少しました。人口減少が続いていることに加え、医療機関からのポストアキュート患者などの転院が減少傾向にあることも要因の一つにあります。転院受入患者の減少は、患者数が全体的に減少していることのほか、比較的軽度な症状による高齢者の救急搬送後に、救急医療機関から当院への転院ではなく介護施設や在宅復帰することが増加しているためと考えられます。また、介護施設利用者も総じて減少傾向にあることから、施設からの入院患者が減っていることも要因と考えられます。病床利用率は、令和5年度と比べ35.1%増の86.2%となりましたが、令和5年度一般病床45床のうち、令和6年3月29日に小規模介護医療院療養床として19床削減したことにより、病床数が26床に変更となったため利用率は上昇しました。

外来では、人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症関連の外来受診者が減少したことや令和5年度に開業した民間クリニックへの患者流動などにより、年延べ外来患者数は29,706人となり、前年度に比べ4,060人の減少しました。

(2) 収益

入院収益は、患者数の減少により263,647千円で、令和5年度と比べ16,037千円の減となりました。

外来収益は、患者1人1日あたりの診療単価は微増しましたが、患者数の減少により前年度から25,078千円減の198,928千円となりました。

一般会計からの繰入金は、医業費用の削減額を上回る医業収益の減少により、2年続けて500,000千円に達し高水準が続いています。

医業収益と医業外収益を合わせた経常収益は1,057,245千円となり、令和5年度に比べて45,030千円の減となりました。

(3) 費用

費用は、原油及び物価高騰等に伴う材料費や光熱水費価格が高くなりましたが、派遣常勤医師数の減による職員給与費、患者数の減少に伴う医薬材料購入が減ったことや全体的な節減に努めしたことにより、医業費用、医業外費用を合わせた経常費用では1,046,962千円となり、令和5年度に比べて27,415千円の減となりました。

(4) 収支

収益的収支は、費用の削減額よりも収益の減少額が上回ったため、純損益は10,283千円の黒字を計上しましたが、前年度より17,615千円減少することとなりました。

2 欠損金の状況

累積欠損金は、令和2年度において108,178千円まで拡大しましたが、令和3年度から純利益を計上し、令和5年度で解消することができました。令和6年度決算では、34,708千円の未処分利益剰余金を計上しました。

3 資本的収支の状況

資本的収支は、耐用年数を超過した医療機器の更新等と企業債償還金の合計136,270千円を支出し、医療機器の更新等に係る財源として企業債の借入29,000千円と国保調整交付金2,750千円を収入計

上しました。企業債は、交付税措置のある過疎債及び病院事業債の活用を図りました。

令和6年度の企業債償還金は、101,441千円で、現借入金の償還ピークは令和7年度となっています。

資本的収支において104,520千円の収支不足額が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

4 目標の達成状況

本プランで設定した目標は、経営指標に係る数値目標において13項目中5項目、病院機能に係る数値目標において9項目中3項目の達成となり、前年度比較で、経営指標は1項目の増、病院機能は3項目の減となりました。

経営指標に係る数値目標は、本プラン策定後達成していた経常収支比率が未達成となりましたが、一方で、前年度未達成の修正医業収支比率、病床利用率が目標を上回りました。経常収支比率の未達成は、医業収益の減少によります。

病院機能に係る数値目標は、在宅復帰率、臨床研修医受入件数と逆紹介件数が未達成項目として増えました。高齢患者が増えて入院形態が変化していることや基幹病院からの依頼などによって増減する項目です。目標未達成となりましたが、引き続き受入等の環境を整備して改善に努めます。

介護医療院の開設に伴う病床の削減、病床区分を療養病床に変更することによる収益の見通し等をもとに、本プランの第2回改訂において上記以外の数値目標を含め目標の見直しをおこなっており、今後、改善に向けた取り組みと目標達成に努めています。

5 数値目標との比較表

別紙のとおり

【 数値目標との比較 】

上段は実績、下段は計画、○は達成、×は未達成

項 目	実績			経営強化プラン計画期間（上段実績、下段計画）						経営指標	
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
経営指標に係る項目	(1) 経常収支比率 (%)	98.0	92.7	98.8	○106.0 98.9	○104.3 98.4	○102.9 100.0	×101.3 104.3	102.1	100.9	101.4
	(2) 修正経常収支比率 (%)	62.3	57.8	66.8	○68.8 60.4	×60.8 63.4	×55.9 64.1	×51.9 54.2	55.6	53.8	54.1
	(3) 医業収支比率 (%)	69.6	66.2	60.6	○75.4 66.3	×63.3 66.6	×58.8 67.3	×54.2 59.9	56.9	51.2	51.3
	(4) 修正医業収支比率 (%)	95.7	90.5	82.8	×82.9 96.4	×68.9 96.0	×64.0 96.8	○59.4 54.2	51.1	46.0	46.1
	(5) 他会計繰入金対経常収益比率 (%)	36.4	37.7	32.5	○35.1 39.0	×41.7 35.6	×45.7 35.9	×48.7 48.0	45.5	46.7	46.6
	(6) 職員給与費の医業収益に対する割合 (%)	85.1	90.3	96.1	○75.6 88.6	○73.7 87.7	○81.7 86.8	○86.5 95.7	110.1	131.1	131.1
	(7) 病床利用率（一般病床） (%)	65.1	53.4	43.3	○54.6 49.8	×47.4 60.3	×51.1 59.5	○86.2 59.1	92.3	92.3	92.3
	(8) 一日平均患者数	入院(人)	35.8	29.4	23.8	○30.0 27.4	×21.7 27.1	×23.4 26.8	×22.4 23.0	24.0	24.0
		外来(人)	139.3	131.6	105.7	×125.4 144.6	○143.7 142.6	×120.5 141.2	×122.3 139.8	132.8	132.0
	(9) 患者1人1日当たり診療収入	入院(円)	24,186	26,794	28,537	○28,002 28,000	○29,857 28,000	○32,719 28,000	○32,227 28,000	28,000	25,000
		外来(円)	6,817	6,950	7,397	×7,268 7,400	×6,960 7,400	○7,650 7,400	×6,793 7,400	7,400	7,200
	(10) 薬品使用効率 (%)	109.5	101.6	100.3	○103.5 98.3	○100.0 99.3	×89.4 98.1	×75.5 99.1	99.0	99.0	99.0
	(11) 後発医薬品使用割合 (%)			86.2	×89.4 90.0	○90.3 90.0	×92.3 93.0	○93.4 93.0	95.0	95.0	95.0
病院機能に係る項目	(1) 病床数	55	55	55	○55 55	○45 45	○45 45	○26 26	26	26	-
	(2) 在宅復帰率 (%)	69.6	62.0	85.0	○83.5 80.0	○84.5 80.0	○80.3 80.0	×76.3 80.0	75.0	75.0	75.0
	(3) 臨床研修医の受入件数	10	10	3	○6 6	×5 6	○7 6	×3 6	6	6	6
	(4) 訪問診療件数	1,066	1,146	1,177	○804 800	×812 850	×714 900	×583 950	1,000	950	950
	(5) 訪問看護件数	4,342	4,739	5,101	○4,558 4,500	○4,979 4,500	×4,345 4,500	×3,506 4,500	4,500	4,300	4,300
	(6) リハビリ件数	7,177	9,936	7,838	×7,623 8,000	×4,668 8,000	×4,433 8,000	×4,315 8,000	7,500	7,500	7,500
	(7) 地域医療連携室相談件数	53	50	56	○78 55	×53 55	○71 60	○76 60	60	60	60
	(8) 紹介件数	779	750	638	○771 650	○900 680	○843 680	○852 700	700	700	700
	(9) 逆紹介件数	1,354	1,192	1,055	○1,138 1,055	○1,151 1,080	○1,138 1,080	×1,079 1,100	1,100	1,100	1,100